



独立行政法人  
地域医療機能推進機構

北海道病院 広報誌

Vol.40

令和6年  
2月22日発行

# JCHO 北海道病院 だより

特集

P1 新年のごあいさつ

P4 今号の診療科 | 耳鼻咽喉科のご紹介

JCHO北海道病院  
マスコットキャラクター  
とよちゃん



## Contents

P5 地域講演会 開催報告  
豊平がん緩和研究会 開催報告  
電子カルテ更新のお知らせ

P6 第62回リバーサイド消化器懇話会  
災害救急指定日  
今号の一枚 ~表紙写真紹介~





# 新年のごあいさつ



謹んで新年のご挨拶を  
申し上げます。

院長 古家 乾

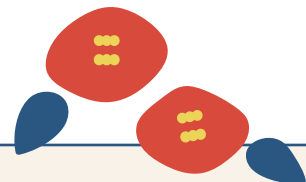


元旦から震度7 (M7.6) を記録した能登半島地震と津波、翌2日には海保機と日航機の羽田空港での衝突事故という痛ましい2つの大きなニュースが続きました。この度の災害と事故で犠牲になられた方々、ご遺族の皆様には深くお悔やみ申し上げます。また被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、一刻も早く穏やかな生活を取り戻せることを祈るばかりです。

昨年は当院の創立70周年、とよひら周産期センターの開設、循環器内科による不整脈のカテーテルアブレーション治療の開始、年末にはda Vinci Xiの導入と当院にとっても思い出深い1年となりました。またコロナ禍で遅れていました電子カルテの更新をこの1月年初めの3連休に行いました。この間、新規患者様の受け入れ等に関して、ご不便をおかけしました関係各位に心からお詫び申し上げます。先の周産期センターの改修工事も現在進行中で、1月末にはNICU、GCU等の改修が終了し、その後、新LDR、新手術室と工事が続き、7月中には全て終了する予定です。8月以降は周産期センターの機能が100%発揮できるよう取り組んでおりますので、それまでの工事期間は、制限とご不便が生じると思いますのでご容赦のほどよろしくお願い申し上げます。Da Vinciは3月からの稼働を目標に鋭意準備を進めております。

2014年4月にJCHOが発足し、本年の4月でJCHO創立10周年を迎えます。新年度は診療・介護・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定の年でもあり、さらに働き方改革、新興感染症対策、医療DXなど様々な課題も控えております。世界情勢や日本の経済・人口問題などVUCAの時代のNegative Capabilityが試される年になると思います。

職員一同、本年も当院のより良いあり方を模索しながら、手探りで11年目に突入していきたいと思っております。皆様にとって希望をもたらす1年になりますよう祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



## 副院長(消化器センター長・総合支援センター長) 数井 啓蔵



昨年5月8日、新型コロナ感染症が2類から5類に引き下げとなり日常生活はかなり正常化してきた感があります。昨年の忘年会シーズンもコロナ前の盛況な街の様子を取り戻した感じがありました。しかし、新型コロナがなくなった訳ではありませんので、医療に携わる我々は感染しない、感染させないという心がけは常に重要だと思っております。

さて、2024年は怒濤の様な1年の始まりでした。元旦の能登半島地震、2日の日航機と海保機の衝突事故、3日の北九州市の大火災。天災は人間には避けることはできませんが、事故の多くはヒューマンエラーに起因し、無くすことは不可能と言えます。事故は、スイスチーズモデルに例えられることがあり、小さな穴からすり抜けたヒューマンエラーがいくつも重なり重大な事故が発生するという考えです。日航機衝突事故はこれから原因が明らかにされると思いますが、安全装備の不備、ヒューマンエラー、コミュニケーションエラー、環境要因など多重因子が絡んだ事故と言えます。

私個人としては、昨年末より医療安全管理者養成研修を受講しており、医療事故を未然に防げる方策を勉強しております。医療安全を重視する病院は、患者満足度も高くなり、質の良い医療を提供できる病院の最初の一步と思っております。

地域の先生方と、顔の見える医療を心がけていきたいと思っておりますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 副院長(周産期医療センター長) 長 和俊

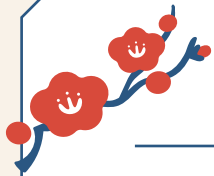


本年1月1日に発災しました能登半島地震の被災者の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。私自身のルーツが七尾にあるため、個人的にも心を痛めております。

2020年初頭より始まったコロナ禍は社会に大きな影響を与えてきました。周産期領域では少子化が一層進行しました。小児科領域では、COVID-19に対する徹底した感染対策の結果として、小児の急性熱性疾患の流行が極端に抑制されました。その反動として、2023年5月にCOVID-19が5類に移行して以降は、RSウイルス、インフルエンザ、溶連菌、アデノウイルスなど複数の病原体による感染症が同時に猛威を振るっております。

2023年4月にKKR札幌医療センターとの間で産婦人科の診療機能を再編して、周産期の診療機能をJCHO北海道病院に集約しました。周産期医療の充実のため、新生児集中治療室(NICU)とその回復室(GCU)の整備を行っており、本年2月には新しいNICUとGCUがオープンする予定です。また、緊急帝王切開に対応する専用の手術室を4階病棟内に設置する予定です。

これからも、地域の周産期医療・小児医療に貢献出来るよう精進して参りますので、ご支援宜しく願い申し上げます。



## 新年のごあいさつ

### 附属介護老人保健施設 診療部長 大江 真司



コロナが昨年5月から5類相当になり、社会も少しずつコロナ前の状態に戻りつつあります。しかし最新の情報では、また新しいオミクロン型から派生したJN.1型が流行してきたようです。感染力は強いものの重症化率は高くないとのことですが、油断できません。このようにコロナは、しばらく無くならないものの今後はインフルエンザと同じように1年に1回程度のワクチン接種によって重症化させずに感染が落ち着き、経済を含

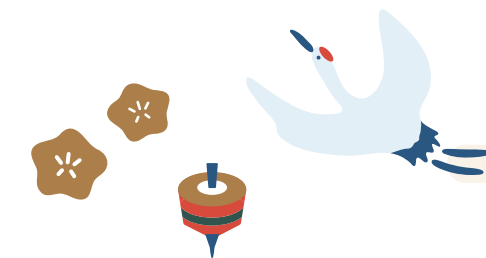
めた社会活動が安定することが望まれるでしょう。とはいえ、当施設では常時90~100歳台のデイケア利用者や入所者が多数いますので、引き続き利用者、入所者、施設のスタッフの健康状態を迅速に把握することが重要だと思います。

昨年の夏頃からコロナ禍で中断されていた当施設の行事も少しずつ再開されてデイケアの利用者、入所者の笑顔も戻ってきました。

今年は更に皆様に当施設を利用して良かったと喜ばれるように職員一同頑張っていきたいと思います。今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



▲ ROUKENくん



▲ JCHO北海道病院附属介護老人保健施設



今号の  
診療科



# 耳鼻咽喉科のご紹介

耳鼻咽喉科 医長

太田 亮



太田 医長

耳鼻咽喉科では、常勤医師2名で、脳と目以外の頭頸部疾患に対しての診断・治療を行っています。当科診療の特徴をお示しします。

## 神経耳科について

めまい、急性感音難聴、顔面神経麻痺などの入院治療に力を入れております。顔面神経麻痺には言語聴覚士による専門的なリハビリを行い、合併症の発症頻度を低下させています。

また、補聴器診療の第一人者、済生会宇都宮病院・新田医師の元で研修を受け、そのノウハウを生かして難聴者の補聴のみならず、**補聴器を用いた耳鳴治療**も積極的に行っています。さらに補聴器フィッティングに当たっては、個々人の外耳道形態に差があることを考慮し、道内ではまだ実施例が少ない、**実耳測定**を積極的に取り入れています。



▲実耳測定のイメージ

## 嚥下障害について

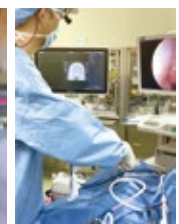
嚥下障害の評価・リハビリにおいて、**嚥下内視鏡(VE)**等を多数施行(年間500例以上)、治療方針の決定を行っております。重篤な**誤嚥性肺炎**を反復する嚥下障害の方に、**侵襲の少ない誤嚥防止術(鹿野式声門閉鎖術)**を大原総合病院・鹿野医師の元で実際に研修を受けた上で実施しています。高齢化の進展で嚥下障害は増加しています。誤嚥しそうか?リハビリは必要か?手術適応か?お悩みの場合はご紹介下さい。

## その他手術について

その他手術は、**鼻副鼻腔手術、小児を含めた扁桃摘出術、アデノイド切除術、小児鼓膜チューブ留置術、喉頭微細手術、甲状腺・耳下腺などの頭頸部腫瘍手術**などを行っております。鼻副鼻腔手術には**ナビゲーションシステム**、甲状腺などの頸部手術に**神経モニタリング装置**を使用、神経麻痺などの合併症発症の可能性を減らし、より正確で治療効果が高くなるよう努めています。



▲頭頸部手術



▲鼻内内視鏡手術

## 急性疾患について

**急性感染性疾患**(扁桃周囲膿瘍、急性喉頭蓋炎、深頸部膿瘍)などの**入院治療**も積極的に受け入れています。



札幌市南部の中核病院として、より**安全で充実した医療**を提供できるよう、今後も努力して参りますので、よろしくお願ひします。

## Report 1

# 豊平がん緩和研究会 開催報告

10月31日(火)、第7回豊平がん緩和研究会を開催しました。今回は兵庫医科大学病院 ペインクリニック部教授 高雄由美子先生による「**当院での緩和ケアチームにおけるペインクリニックの役割～神経ブロックを活用する～**」についてご講演いただきました。コロナ禍でしばらく開催できておりませんでした。今回は神経ブロックの潮流など大変興味深い内容で、院内外から47名の参加がありました。



## Report 2

# 地域講演会 開催報告

11月30日(木)、平岸まちづくりセンターにて、市民公開講座「**地域講演会**」を開催いたしました。

外科 数井副院長による「**胆石症～よくある病気 でも本当は怖い。いつ治療すればいいの?～**」と検査部加藤さんによる「**超音波検査でみる胆石**」というテーマで講演を行いました。

今回は、10名の方にご参加頂きました。医療を身近に感じてもらえる機会となつて頂ければと思います。



## お知らせ

# 電子カルテ更新のお知らせ

2024年1月8日より、**電子カルテシステムを更新**しました。導入にあたり、12月には新システム稼働に向けた外来診察・入院から退院までの運用確認のため、リハーサルを行いました。円滑な運用に向け最善の体制で臨んでおりますが、対応に時間を要する可能性があります。

しばらくの間、患者さんおよび医療機関の皆さまには大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

## リハーサルの様子



令和5年11月14日(火)第62回リバーサイド消化器懇話会を開催しました。会場とオンラインを併用したハイブリット形式での開催となりました。

会場参加者は院内医師13名、院外医師6名、院内メディカルスタッフ4名 オンライン参加者は院外医師11名 メディカルスタッフ3名 合計37名でした。

「胃粘膜下出血手術例の検討」「早期膵癌手術例の検討」「エキノкокクスを疑った肝嚢胞手術例の検討」の3題の講演後、特別講演として、北海道大学病院 消化器内科 特任教授 大野 正芳先生より「北海道の薬剤性消化管出血を減らす為にできること～消化器内科医の立場から～」についてご講演いただきました。



### 次の開催予定

令和6年3月12日(火) 18:20～  
沢山の方々のご参加をお待ちしております。

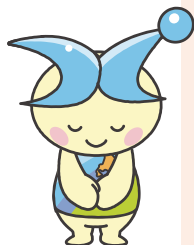


## 災害救急指定日

令和6年

2月 13日(火)  
24日(土)

3月 12日(火)  
23日(土)



※災害救急指定日は、やむを得ぬ事情により変更する場合があります。毎日の新聞紙等でご確認ください。

## 今号の1枚

### 表紙写真紹介

鎌倉観光にて film camera  
フィルムカメラの枚数には限りがあり  
江ノ電の通過は一瞬なので、シャッターを  
押す瞬間は緊張しました。



撮影者：栄養管理室 樋口 祐香



# JCHO北海道病院 各科外来診療担当医師

【午前の受付時間】 8:00~11:00 (診療開始 8:45~)

【午後の受付時間】 12:30~15:30

(診療開始は各診療欄をご覧ください)

● 病院代表電話 : 011-831-5151

● 予約変更直通電話 : 011-831-5489 (平日 9:00~16:00)

※担当医師、診療時間について変更になる場合がございます。

診療科	午前・午後	月	火	水	木	金
総合診療救急科	内科系	北尾 直之 山中 康也 高橋 将成	志田 玄貴 村山 千咲 本居 美羽	前田 由起子 村山 千咲 井上 直樹	前田 由起子 酒井 碧 高橋 将成	前田 由起子 南 秀明 木村 銀河
	午後(救急車のみ)					不整脈外来 (第3金曜日)【予約】 木村 銀河 ペースメーカー外来(第1金曜日)
循環器内科	午前			水上 和也		
	午後 (診療 13:00~)					
心臓血管外科	午前		吉田 俊人			
呼吸器内科	午前	1診 酒井 碧 2診 水島 亜玲	原田 敏之 谷口 菜津子	原田 敏之 谷口 菜津子	長井 桂 水島 亜玲	山中 康也 長井 桂
消化器内科	午前	1診 古家 乾 2診 馬場 英	甲谷 理紗子 定岡 邦昌	古家 乾 菅野 究	大原 正嗣 定岡 邦昌	保浦 直弘 馬場 英
	午後(診療 14:00~)	3診【予約】野口 卓郎(化学療法) 坂本 直哉【予約】	合田 智宏(化学療法)	竹内 啓(化学療法)	田口 純(化学療法)	田中 智之
腎臓内科	午前	山本 準也		関 真秀	山本 準也	関 真秀
膠原病内科	午前【予約】	志田 玄貴	鎌田 和郎		志田 玄貴	志田 玄貴
糖尿病・ 内分泌内科	午前	1診 2診 牧野 圭祐	北尾 直之 國崎 哲	牧野 圭祐	北尾 直之 國崎 哲	國崎 哲
	午後 【予約】	1診 2診 牧野 圭祐(13:30~)	北尾 直之(14:00~) 國崎 哲(14:00~)	牧野 圭祐(13:30~)	北尾 直之(14:00~) 國崎 哲(14:00~)	國崎 哲(14:00~)
内科	午前	1診 2診	大江 真司【予約】 前田 由起子	竹内 正	大江 真司【予約】	
	午後	1診 板倉 治 2診 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	板倉 治 椿 淳子	宮川 雅美 椿 淳子	宮川 雅美 椿 淳子
小児科	午前	3診 長 和俊(10:00~)			中島 翠(9:00~) (月2回)【神経】【予約】 長 和俊(10:00~)	長 和俊(10:00~)
	午後 (診療 13:30~)	一般 慢性外来 【予約】 新生児フォロー アップ【予約】 乳児健診 【予約】	板倉 治 恩田 哲雄 【フォローアップ】 伏屋 菜穂 【フォローアップ】	板倉 治 椿 淳子 【内分泌】 加藤 はるか 【喘息・アレルギー】 那須 敬 【フォローアップ】	乳児健診【予約】 恩田 哲雄 【フォローアップ】 予防接種【予約なし】 受付時間12:30~14:30 長 和俊(15:00~)	宮川 雅美 加藤 はるか 【喘息・アレルギー】 中島【神経】(月2回) /永井【循環器】(月2回) 赤城 秀紀 【フォローアップ】 乳児1ヵ月健診 【産婦人科外来】
整形外科	午前	1診 出張医(第1・3週) 2診 酒井 俊彦(10:00~) 3診 岩崎 美憲	出張医(10:00~) 酒井 俊彦 寺島 理代	寺島 理代 岩崎 美憲	遠藤 健(第1週) 酒井 俊彦 出張医	五月女 慧人(第4週) 寺島 理代 岩崎 美憲(10:00~)
	午後 (診療14:00~)	一般 専門外来 (初診・紹介) 予約 一般 乳腺外来 【予約】	植木 伸也 肝・胆・脾外科 乳がん検診	数井 啓蔵 乳腺・甲状腺外科 乳がん検診	数井 啓蔵 胆石症外来 乳がん検診	正村 裕紀 呼吸器外科(肺癌、気胸、嚥胸) /内視鏡外科 乳がん検診
泌尿器科	午前	1診 高柳 明夫 2診 齋藤 庸子(10:30~)	豊田 朋弘 齋藤 庸子(10:30~)	高柳 明夫 齋藤 庸子(10:30~)	高柳 明夫 豊田 朋弘(10:30~)	出張医 豊田 朋弘(10:00~)
	午後(診療14:00~)	高柳 明夫			高柳 明夫 交代診療	交代診療
産婦人科	午前	1診 山田 俊【予約】 2診 出張医 3診 藤井 タケル【予約】 4診 助産師外来(妊婦健診)	小山 貴弘【予約】 佐々木 瑞恵 小田 泰也【予約】	小田 泰也【予約】 出張医/佐々木 山田 俊【予約】	佐々木 瑞恵【予約】 交代診療 産後健診(NICU)	藤井 タケル【予約】 山田 俊 小山 貴弘【予約】
	午後 (診療14:00~)	1診 2診 助産師外来(妊婦健診) 3診 助産師外来(産後育児外来)	佐々木 瑞恵 助産師外来(産後育児外来)	山田 俊 助産師外来(産後育児外来)	助産師外来(産後育児外来)	産後健診
眼科	午前	1診 藤尾 直樹 2診 宮本 美帆	藤尾 直樹 宮本 美帆	藤尾 直樹 宮本 美帆	藤尾 直樹 宮本 美帆	藤尾 直樹 宮本 美帆
	午後 (診療14:00~)	1診 2診			藤尾 直樹 宮本 美帆	
耳鼻咽喉科	午前	1診 大湊 久貴 2診 太田 亮	大湊 久貴 太田 亮	大湊 久貴 太田 亮	大湊 久貴 太田 亮	大湊 久貴 太田 亮
	午後 (診療14:00~)	1診 2診	大湊 久貴 太田 亮			大湊 久貴 太田 亮
皮膚科	午前	1診 神谷 詩織 2診 藤江 千果	神谷 詩織 藤江 千果	神谷 詩織 藤江 千果	神谷 詩織 藤江 千果	神谷 詩織 藤江 千果
	午後 (診療14:00~)	1診 神谷 詩織	藤江 千果			神谷/藤江(交代診療)
麻酔科(ペインクリニック・予約)	午前	実藤 洋一		神田 知枝		笠井 裕子
放射線診断科	午前	杉浦 充			杉浦 充	
禁煙外来【予約】	午後(診療13:30~)	長井 桂			原田 敏之	

JCHO北海道病院

〒062-8618 札幌市豊平区中の島1条8丁目3-18

URL <https://hokkaido.jcho.go.jp> facebook <https://www.facebook.com/jchohok>

〈医療機関専用：総合支援センター直通〉 TEL 0120-515-830 FAX 011-815-1005

ホームページはこちら

